

## 危険物はいたるところに存在します

香水、油性塗料、ラップトップコンピューター等は輸送において危険物とみなされます。ある特定の状況下において、これらの日用品は人、物、環境に害を与えるおそれがあります。危険物を正しく識別し、貨物ごとに適切な梱包や準備を行い、貨物とお客様自身を守ってください。

### 1. 貨物の識別

危険物を正しく識別、分類（UNまたはID番号、正式輸送品目名、危険性クラス、副次危険性と包装等級）する為に International Air Transport Association (IATA) と International Civil Aviation Organization (ICAO)の規則を確認してください。

### 3. お客様自身を守る

IATA や ICAO の規則に従って貨物の準備を行わない荷送人は、連邦および民間当局により罰金が課せられます。さらに刑事訴追を受けたり懲役刑が科せられたりする場合があります。米国政府は危険物の取り扱いや準備に携わる者が、危険物トレーニングを受講して資格を取得することを要求しています。フェデックスは年間を通してトレーニングセミナーを開催しています。セミナーのスケジュールや登録情報はこちらをクリックしてください。 [fedex.com/us/services/options](http://fedex.com/us/services/options)。

### 2. 正しい梱包

危険物の中には特定の梱包やラベリング、マーキングが要求されるものがあります。それらの危険物は「**危険物申告書**」の提出も必要です。IATA、ICAO の要件に沿って、非放射性物質の貨物を準備して頂くには、こちらをご覧ください。

[images.fedex.com/us/services/pdf/DG\\_Job\\_Aid.pdf](http://images.fedex.com/us/services/pdf/DG_Job_Aid.pdf)

### 4. サポートが必要な場合

フェデックスのネットワークにおける危険物の準備に関するご質問は、フェデックス危険物ホットラインまでお問い合わせください。

**1.800.GoFedE** または **1.800.463.3339** に電話をして **81** を押すか、「**dangerous goods**」とおっしゃってください。

米国以外のお客様は現地のカスタマーサービス危険物担当者にご相談ください。



### 危険物の代表例

エアゾール	マッチ
弾薬	油性塗料
電池（リチウムおよび湿電池）	パーツ（ガソリン、ジェット燃料またはケロシンを含む）
キャンプ用ストーブ	香水
化学品	プロパンガス
排水溝クリーナー	放射性物質
花火	溶剤
ライター	

### 危険物アップデート

以下は輸送において壊滅的な事故につながるおそれがあると最近識別されたアイテムです。

酸素供給器 / 酸素ケース

あらゆるタイプの電池

引火性ガストーチ

ガソリンを燃料とするあらゆるタイプの装置

花火

**ご注意：フェデックスは、フェデックス、政府または IATA・ICAO の要件を満たしていないパッケージの受託をお断りします。**

本資料は、決して米国規則 49CFR および IATA による要件を置き換えることを意図しているものではなく、あくまでも情報提供のみを目的としたものです。貨物を適切に準備することは荷送人の責任です。詳しい情報およびガイドラインについては、フェデックス危険物ホットラインにお問い合わせください（1.800.GoFedE または 1.800.463.3339 に電話をして 81 を押すか、「dangerous goods」とおっしゃってください）。米国以外のお客様は、現地のカスタマーサービス危険物担当者にご相談ください。また、フェデックスの運送サービスに適用される最新の国際サービス規約等の契約条件をご参照ください。